

2014年度精神看護学セミナー

シンポジウム



## 糖尿病を合併している精神疾患患者へのアプローチ セルフケアへの援助とは何かを再確認！

精神疾患患者の中には、活動性が低下しやすいこと、食べることが大きな楽しみになっていること、抗精神病薬の影響などにより、糖尿病を併発している方がたくさんいらっしゃいます。

そのような患者さんへのアプローチについては、「どうしたらよいのだろう？」と悩んでいる看護職者も多いのではないのでしょうか。

今年度の精神看護学セミナーでは、このような問題に焦点をあてて取り組んでこられた方々をお招きし、皆様と共に日ごろの悩みを共有しながら、支援方法を考えていきたいと思います。

お忙しい時期かとは思いますが、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

**日時：**2015年3月21日（土） 13:30～16:30

**場所：**福島県立医科大学看護学部8号館（旧看護学部棟）N301 教室

**シンポジスト：**

- 高田 昭 氏（宮城県立精神医療センター）  
入院中から外来への移行期における支援について
- 渡邊 碧 氏（上智大学総合人間科学部看護学科）  
糖尿病悪化を防ぐ精神科熟練看護師のケアについて
- 永井 優子氏（自治医科大学看護学部）  
地域で暮らす患者への支援について
- 黒田久美子氏（千葉大学大学院看護学研究科）  
セルフケアへの支援のあり方について

**申し込み：**3月13日（金）までに、メールまたはFAXにて、田村までご連絡下さい。 E-mail:tt5711@fmu.ac.jp FAX:024-547-1859

福島県立医科大学看護学部精神看護学担当

大川貴子 加藤郁子 高田香苗

田村達弥 有賀優加